

<b>交渉情報</b>	<b>NO.55</b>	日本郵便(株)信越支社 要員集配部
JP労組 信越地方本部	2017年2月23日	添付資料:2枚

## 2017年3月末における適正な要員配置について

日本郵便(株)信越支社要員集配部は、本日(2月23日)「2017年3月末における適正な要員配置」について地方本部に説明してきました。

### 1 趣旨

事業の「増収増益」を実現するための基盤整備をはかるためには、業務量に合わせた適正な要員配置の徹底が不可欠とし、雇用調整可能人員を算定の上、2016年度末までに適正な要員配置に向けた取り組みを実施するものです。

### 2 取組方法

#### (1) 内務

- ア 2016年5月物数調査に基づく必要労働力と実配置を比較し、120%以上の配置となっている局
- イ NW再編実施により被集中局となる局で必要労働局と実配置を比較し、100%以上の配置となっている局

#### (2) 外務

- ア 集配区画数の見直し  
業務量の変化に応じた集配区数(人)の見直しが必要な局を各ブロック1局モデル局に指定の上、取り組む。
- イ 混合配置の見直し  
業務量に見合った基本配置の減(勤務時間数の見直し)のほか、始終業時刻の見直し、勤務時間の弾力運用の実施。

### 3 算出根拠

#### (1) 内務

2016年度5月物数調査に基づく、必要労働力と実配置の比較により、過剰配置となっている局

#### (2) 外務

- ア 集配区画の見直し
  - 1) 配達箇所数の増減
  - 2) 配達物数の増減

- 3) 配達区画の増減
- イ 混合配置の見直し
- 2016年度5月物数調査に基づく、必要労働力と実配置の比較により、過剰配置となっている局
- なお、過剰配置数＝削減数とせず、削減可能数を設定。

#### 4 実施数

- (1) 内務 69.3人
- (2) 外務 27.2人

#### 5 スケジュール

2017年3月末までに、要員配置の見直し等を実施（NW再編に伴い被集中局となる郵便局は9月末まで。）。

この提示を受け、地本では要員不足の中、削減できる要素はないと考える。

5月物数結果では通集配区画数で「甘」が出ている局が多くあるが、実態は期間雇用社員が定着し切れていない中、業務運行や休暇取得等に苦慮している。

この削減数は本社提示であり、地方で吹き抜けないことも理解しなければならないが、改めて以下について申し入れる。

- ① あくまでも退職者の不補充が基本であり、強引な雇用調整等を行わないこと。従って、退職者がなければ削減は生じないこと。
  - ② 実施した場合、常態的に業務運行に支障を来すことになれば、現地判断で雇用を認めること。
  - ③ NW再編に伴う被集中局については、NW再編後の業務運行等を勘案し行うこと。
- の3点を確認しました。

以下に各局の削減数を示します。

##### 【内務】

削減数	局
10.0以上	新潟中央
5.0以上	長岡
2.0以上	新潟中・高田
1.0以上	新津・柏崎・十日町・六日町・糸魚川
0.1以上	新潟西・白根・燕・新発田・豊栄・小千谷・直江津

##### 【外務】

集配区数減区モデル局	三条・村上・栃尾・上田・駒ヶ根
------------	-----------------

削減数	局
2.0以上	高田・長野東
1.0以上	新潟中・両津・新発田・豊栄・長岡・十日町・糸魚川・長野中央・長野南・須坂・佐久・松本南・松本・穂高・飯田・木曾福島・岡谷
0.1以上	白根・燕・柏崎・長岡西・六日町・飯山・小諸・伊那

なお、詳細な削減数については、「地本止まり」としており、幅を持たせた表示とせざるを得ませんでした。

上記当該局は単局窓口説明となりますが、齟齬が生じた場合は地本へ連絡願います。

【労使対応】 単局窓口